2025 年度　臨床専門専修科生研修プログラム

講座名	口腔インプラント学講座
主任教授	佐々木　穂高
プログラム責任者名 （プログラムの管理・運営）	佐々木　穂高
プログラム修了時に資格要件を満たす学会認定等の名称	（公社）日本口腔インプラント学会　　JSOI 認証医 （公社）日本口腔インプラント学会　　専門医（要５年以上の在籍期間） （公社）日本顎顔面インプラント学会　専門医（要５年以上の在籍期間）
研修期間（入学時期）	原則として２年間　（４月） 上記、専門医取得のためには最短で５年間の研修が必要となる。
受入れ人数（総数）	水道橋病院　若干名 （初期研修プログラムの修了後、千葉歯科医療センターでの研修可）
指導医	佐々木穂高、伊藤太一、古谷義隆、平野友基 他　各施設所属の臨床教授、臨床講師、非常勤講師　など
修了の認定要件	所定の研修プログラムを修了すること 講座主催の研修会・症例検討会・抄読会・関連学会への参加・発表 講座が指定した臨床実技（外科系・補綴系）での評価で合格

プログラムの目的

口腔インプラント学は多領域連携型の包括的学問であることを理解し、インプラント歯科治療における基本的な知識・技能および態度を、当講座での臨床研修プログラムを通して修得することを目的とする。研修期間２年で、インプラント歯科治療に必要な診断能力を修得し、症例難易度に合わせた治療計画の立案と治療が可能となる臨床技術を身につけることを目的とする。

ユニット

東京歯科大学付属病院口腔インプラント科の臨床専門専修科プログラム

一般目標（GIO）

一般的なインプラント歯科診療を行うための技能ならびに各症例に対して適切な診察が行うための知識を習得する。また、研修期間に応じて各口腔インプラント関連学会の認定資格を取得するため必要な知識、技能を修得する。

行動目標（SBOs）

インプラント歯科治療に関連した基本的な知識・技能・態度を統合的に修得する。

方略（ＬＳ）

講義・実習：初年度の研修（講義、模型実習）を受けて、試験による評価
臨床実習：症例難易度に合わせた配当で学会資格取得を満たす症例数を担当し、症例レポートで評価
学会発表：臨床研究、症例研究を関連学会（口腔インプラント学会、顎顔面インプラント学会、東京歯科大学学会、海外の関連学会等）にて発表（２回以上）

評価（ＥＶ）

形成的評価（症例レポート、記述試験、実技試験、学会発表、抄読会・症例検討会での発表実績）

プログラム修了時における学会認定医等の具体的申請基準

日本口腔インプラント学会 JSOI 認証医の申請基準は、研修施設に２年以上の在籍、学会への参加、ケースプレゼンテーション合格とあわせて、上部構造装着２年経過症例が５症例必要となる。本プログラム修了時には、これらの基準の殆どが達成される。さらに研修を継続した場合、日本口腔インプラント学会専門医（研修施設所属５年以上、上部構造装着３年経過症例が２０症例等）、日本顎顔面インプラント学会専門医（研修施設所属５年以上、上部構造装着１年経過症例が３０症例等）の取得を目指したカリキュラムを遂行していくことも可能となる。

問い合わせ先	教授・佐々木　穂高　(hosasaki@tdc.ac.jp)